

2025年5月29日

学校法人三幸学園
神戸元町医療秘書専門学校
校長 門脇 千里 殿

学校関係者評価委員会
委員長 田島 桜子

学校関係者評価委員会実施報告

2024年度学校関係者評価について、下記のとおり評価結果を報告します。

記

1 学校関係者評価委員

- ① 吉野 明子 (明石市立市民病院 医事課長)
- ② 金本 藍 (第9期卒業生)
- ③ 田島 桜子 (飛鳥未来きずな高等学校神戸キャンパス 教務主任)

2 学校関係者評価委員会の開催状況

2025年5月29日 (会場 神戸元町医療秘書専門学校 603教室)

3 学校関係者委員会報告

以下「自己評価・学校関係者評価報告書」に学校関係者評価委員会コメントとして記載

以上

2024年度 学校法人 三幸学園 神戸元町医療秘書専門学校 自己評価及び学校関係者評価報告書

自己評価報告責任者：副校長 佐々木 領矢

学校関係者評価報告責任者：学校関係者評価委員会委員長：田島 桜子

1. 学校の教育目標

学園のビジョン「人を活かし、日本をそして世界を明るく元気にする」、ミッション「人を活かし、困難を希望に変える」のもと、医療分野の学校として「医療・福祉・保育現場を通じて、日本を明るく元気にする」というビジョンを掲げている。

また「技能と心の調和」を教育理念とし「素直な心、感謝の気持ち、高い意欲を持ち続け、自ら考え、自ら行動することで、社会に貢献する人材」、医療分野として「相手のこうしてほしいを理解し、考え続ける人材」を育成する人物像とし、専門学校として社会・業界に求められる人材の育成を進めている。

2. 前年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

① 前年度重点施策振り返り

教務スローガン：凡事徹底

教務_退学率目標：7%未満、結果：5.6% 広報_募集目標：90名、結果：63名

3. 評価項目の達成及び取組状況

(1) 教育理念・目標

【評価項目】（評価＝適切：4、ほぼ適切：3、やや不適切：2、不適切：1）	評価
学校の理念・目的・育成人材像は定められているか（専門分野の特性が明確になっているか）	4
社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4
学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが生徒・保護者等に周知されているか	4
各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	3

① 課題

学校としての教育目標や学科ごとの目指す人材育成像の設定はできているが、具体的な評価と体現に繋がっていない。

② 今後の改善方策

定期的な評価実施と評価から抽出される課題を計画的に取り組み、目指す人材育成像に一層近づけられる教育を行っていく。

③ 特記事項

なし

④ 学校関係者評価委員会コメント

特になし

(2)学校運営

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
目的等に沿った運営方針が策定されているか	4
事業計画に沿った運営方針が策定されているか	4
運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4
人事、給与に関する制度は整備されているか	4
教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4
業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4
教育活動に関する情報公開が適切になされているか	4
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3

① 課題

業務の効率化を図ってはいるがより効果的な情報システム化が必要である。

② 今後の改善方策

ICT 授業ツールの導入、実習手帳簿のデジタル化を検討し、授業準備や授業実施における効率化も図る。

③ 特記事項

特になし

④ 学校関係者評価委員会コメント

《ICTツールの活用状況について》

吉野委員 2年ほど前より出退勤を体温も計れる顔認証システムが導入された。認証がうまくいかなかった場合は手入力で、上長の承認を得た後にデータ化をしている。データ化をすることで、過去に遡って調べることもできる。休日などの勤怠の管理もでき使いやすいが、日によって読み込まないことや誤認証など、デメリットもある。

金本委員 職種的にパソコンをあまり使わない。出退勤は体温も計れる光彩認証。認証がうまくいかなかった場合は、複数の上長承認が必要である。

(3)教育活動

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4
目標の設定として、教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4
学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4
キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4
関連分野の企業・関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4
関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	4
授業評価の実施・評価体制はあるか	4
職業に関する外部関係者からの評価を取り入れているか	4
成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	4
資格(免許)取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4
人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保し、組織できているか	4
関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含め)の提供先を確保するなどマネジメントが行われているか	3
関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	3
職員の能力開発のための研修等が行われているか	4

① 課題

業界との連携は引き続き強化していく必要がある。

指導力育成など資質向上のための研修は実施できているが、関連分野の先進的な知識・技術を修得するための研修は十分ではない。

② 今後の改善方策

実習や行事だけではなく授業においても関連分野の業界と連携できるよう計画を進める。

関連分野の先進的な知識・技術を修得するための研修の計画を進める。

③ 特記事項

なし

④ 学校関係者評価委員会コメント

《スキルアップなどの研修について》

田島委員 階層別の研修・個人の研修は学園内の研修のみ。キャンパス独自の取り組みとしては、職員会議で知識量の差によって発言量に差がでてきてしまうので、同じような知識量になる研修をしていきたい。本校は、さまざまな背景をもった生徒が多く、そのような生徒に対する知識を修得していきたい。現段階の対応としては、出身中学校に伺い該当生徒の背景を聴取するにとどまっている。

吉野委員 専門分野での研修を年2・3回ほど行っている。また、定められている研修は頻繁に実施されている。また、イーランニングを病院で作成し、個人で時間を確保し受講させている。受講履歴も残り、管理もできる。研修の実施後はテストを実施し、修得状況も確認できる。さらに、朝礼で10分ほどのミニ研修を実施している。社会福祉士を招くなど、専門のかたにお越しいただいて研修をしてもらっている。研修内容は、直近のインシデントレポートなどをもとにリアルタイムで行っている。

金本委員 2か月に1回、1時間ほどの研修を山ほど実施している。全体の研修・職種別での研修など様々。また、実際に問題が起こり得る現場にいき、その場で改善点を話し合ったりしている。さらに、感染対策の副部長が実際に体験した話を聞くなど、現場のリアルを知る機会がある。結構な頻度で開催。研修後はレポートを提出する。年次に関係なく、起こった問題に対してリアルタイムな研修を行っている。

《研修の企画者について》

吉野委員 それぞれの事柄について担当部署が企画して実施している。例えば、看護師の育成については教育担当、入職してすぐは人事など。病院の委員会での企画もある。

(4)学修成果

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
就職率の向上が図られているか	4
資格(免許)取得率の向上が図られているか	4
退学率の低減が図られているか	3
卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3
卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	3

① 課題

退学率の低減を図る必要がある。

卒業生の状況を把握しきれしていない。

② 今後の改善方策

複数担任制の促進と効果的運用を行うとともに、スクールカウンセラーを効果的に活用していく。

卒業生とのネットワークの構築のために、卒業生が就職してお世話になっている園・施設への訪問を積極的に行っていく。

③ 特記事項

なし

④ 学校関係者評価委員会コメント

《退学率・離職率について》

田島委員 退学率は高校でも課題になっている。対策として、年度初めに、保護者とのつながりを意識して行った。生徒と保護者の知り得る情報が同じであるように対策している。担任によって伝える内容に差異が出ないように、保護者も閲覧できるツールを活用し、生徒に配布した手紙を閲覧できるようにした。保護者や生徒からの学校不信に繋がらないよう行動で示すことを心掛けている。また、生徒情報を共有し、ひとりひとりの生徒をしっかり見る体制を整えようとしている。

吉野委員 病院の事務系で早期離職はあまりない。今までは、中途採用が多く、今年度初めて新卒を雇ったので、新卒の育成カリキュラムを実施した。業務の進捗確認を、1週間・1か月・3か月と細かく行い、声掛けなどのコミュニケーションも細やかに行った。結果、業務の修得にも繋がり、退職の抑制になったと考えている。

金本委員 自分で乗り越えないといけない苦しみはあるが、先輩たちがフォローしてくれるので成長していくことができる。指導係だけの指導ではなく周りのひとも協力して指導係が見られないところのフォローをし、長く続けられる体制をしている。

《学生が学校に対して思うところ》

金本委員 在学中はクラスみんなで仲良くしよう、というような指導が多かったので、ひとりにならないような授業の仕方や、クラス作りをしてきていた。話したことのない人ともお話できる機会を作ることができた。

(5) 学生支援

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4
学生相談に関する体制は整備されているか	3
学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	4
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4
課外活動に対する支援体制は整備されているか	4
学生の生活環境への支援は行われているか	4
保護者と適切に連携しているか	4
卒業生への支援体制はあるか	3
中途退学者への支援体制はあるか	4
社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4
高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4

① 課題

クラス担任制で担任が主に生徒状況の把握を行っているが、生徒の多様化に対応し切れていないケースが多くなり、適切な相談対応が十分ではない。

卒業生への支援体制は一部構築しているが、十分に活用できていない。

② 今後の改善方策

スクールカウンセラーの運用体制見直し(機会の拡張)と、連携の強化を図る。

卒業生支援体制の活性化を図る。

③ 特記事項

なし

④ 学校関係者評価委員会コメント

《卒業生の支援体制について》

金本委員 先生からの声掛けがとても多い。就職先にも訪問してくれ、卒業してからも様子を見に来てくれた。卒業後、新たに資格を取りたいと思ったときも、その資格に関係する先生に話してくれるなど、気に掛けてくれているところがとても嬉しかった。

(6)教育環境

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4
学内外の実習施設,インターンシップ,海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4
防災・安全管理に対する体制は整備されているか	3

① 課題

避難訓練の未実施

② 今後の改善方策

避難訓練の実施を含めた防災・防犯の常時対策の仕組みづくりを構築していく

③ 特記事項

なし

④ 学校関係者評価委員会コメント

《避難訓練について》

吉野委員 避難訓練はしていない。防災については、消火器の位置・ヘルメットの位置などの再確認、初期動作の再確認は年に1回は行っている。
災害時の職員の安否確認ができる「オクレンジャー」というアプリを職員全員が入れている。

金本委員 毎週、消火器の位置、非常出口のランプの点灯確認など、係を決めて実施している。
災害用のストレッチャーを実際にどのように使用するかなど、実際に災害が起こった時にすぐに対応できるように確認をしている。

田島委員 年度初めの全教職員会議で避難経路に関しては確認している。避難訓練はできていない。

(7)学生の受入れ募集

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学生募集活動は、適正に行われているか	4
学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	3
入学選考は、適性に行われているか	4
学納金は妥当なものとなっているか	4

① 課題

継続的、安定的な入学者の確保。

入学前後のギャップの解消。

② 今後の改善方策

教育活動と連動した広報活動を行うことで、学校のブランド力を強化していく。

高等学校の職業教育と連携した広報活動を行っていく。

③ 特記事項

兵庫県専修学校各種学校連合会に加盟し、同会で定められた生徒募集ルールに則り取り組んでいる。

④ 学校関係者評価委員会コメント

《広報について》

田島委員 進路活動を進めていく中で、世の中でのどのような仕事があるのかをわかっていない生徒も多いと実感した。そのため、仕事のことを知れる機会を設けている。高校生は目に見えるものしか知らないなので、話を聞く機会があるだけで興味を持つ生徒は多いと思う。

吉野委員 実際の仕事内容と入職前のイメージにギャップが激しい仕事なので、ふわっとしたイメージで就職すると大変だと思っている。経験がない人を雇うのは結構難しい。新卒を受け入れる体制が整っているところではギャップが少ないのかもしれない。

金本委員 現場では、職種によって知識があるかないで仕事に差が出る。

(8)財務

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
財務について会計監査が適正に行われているか	4
財務情報公開の体制整備はできているか	4

① 課題

【中長期計画】

なし

【予算・収支計画】

なし

【会計監査】

なし

【財務情報の公開】

なし

② 今後の改善方法

【中期計画】

今期は第3期中期計画(2023 年度～2027 年度)の2年目にあたり、中期計画及び進捗状況はホームページ上に公開している。

【財務情報の公開】

なし

③ 特記事項

第3期中期計画については、東京未来大学及び小田原短期大学の中計改定に加え、東京みらい中学校及び支援学校仙台みらい高等学園の内容を追加し、第3期中期経営計画(第2版)として改定する予定である。

④ 学校関係者評価委員会コメント

特になし

(9)法令等の遵守

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
関係法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4
自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	4
自己評価結果を公開しているか	4

① 課題

個人情報の保護に努めてはいるが徹底という意味では十分ではない。

② 今後の改善方策

個人情報に対するパスワードの設定や郵送物への記録などを強化していく。

③ 特記事項

なし

④ 学校関係者評価委員会コメント

《個人情報の取扱いについて》

金本委員 紙面で患者情報を作成しているので、紛失しないように徹底している。破棄する場合は、シュレッターにかけている。管理は、鍵の掛かるところに保管している。

吉野委員 患者の情報で、コピーをとったものは必ずシュレッターにかけて処理をしている。また、普通ごみと機密ごみを分けて処理をし、機密ごみは廃棄用の専用倉庫に入れ、専門の業者に処理してもらっている。大事な書類は鍵付きのところに入れて保管している。
また、個人情報委員会があるので、年に1回、個人情報に関する研修がある。
医療関係の職種において一番重要なのは、ひとを間違えないこと。

田島委員 個人情報に係る書類を作成する際は、名前を表示しないで学籍番号で表記するようにしている。また、書類の放置をしない、なるべくコピーをとらないなどのルールを作っている。
個人情報を紙で出力する際は、Wチェックを心がけている。

(10)社会貢献・地域貢献

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	3
生徒のボランティア活動を奨励、支援しているか	3
地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	4

① 課題

地域貢献活動ができていない。

外部と関わるボランティアの機会を十分に提供できていない。

② 今後の改善方策

地域支援・産学連携の活動を、現場実習・卒業生が就業先としてお世話になっている医療機関と共に計画・実施していく。

ボランティア情報を集める仕組みを構築する。

③ 特記事項

教育訓練として、医療事務員の委託訓練生を受け入れており、2024年度訓練終了者は2名。訓練生の年齢による就職活動の難しさがあり、今後の対策検討が必要。

④ 学校関係者評価委員会コメント

特になし

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

学校教育は内々になりがちで、学外から孤立してしまうことが多い。今回のように外部（業界）の意見を聞くことで新しい知識や取り組みを知れる機会になった。

学生の生活習慣や考え方、医療現場の変化、高校生の職業選択の変化など、様々なことが変化している中、特に医療現場の変化について把握できていないことが多くある。広報活動から日々の教務、出口になる就職やその後の社会人としての活躍を考え、今何が必要かを改めて考えなければならない。また、目先のことだけでなく国全体が目指す方向をふまえてよりよい教育が提供できるように既存のシステムを見直すことも必要だと考える。専門性を持った学生を輩出する教育機関として、現場で活躍できる人材を育てるため更に精進していかなければならない。そして、兵庫という地域に医療に関して恩返しできることを考えていきたい。